

おお大勝利

平成 21 年度山東サッカー部報第 19 号 (10 月 13 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

選手権ベスト8進出！次戦は羽黒

10月10日(土)～12日(月)にかけ選手権の第1ラウンドが行われました。県総体でベスト8に入っていた山東は選手権もシードをもらい、二日目からの登場。初戦2回戦の相手は1回戦で酒田北を4-2で破った長井工業。3年生のFWがフィジカルと技術ともに優れ、1回戦では3得点1アシストの大車輪の活躍。その選手、高校進学の際には村山地区の競合校から「お誘い」がかかったが、地元の高校でプレーすることを選択した逸材。その選手にゴール前で仕事をさせないことが勝利の絶対条件となることを肝に銘じ、試合に臨みました。

試合開始直後、左にプルアウェイ(ボールから離れる動き)をした松永に右サイドの藤盛から斜めに絶妙スルーパス。GKと1対1になるも、ループシュートを狙うため弱めに蹴ったボールは勢いが弱すぎて、GK楽々キャッチ。早々に得たビッグチャンスをものできず。その後もDFラインの裏を執拗に攻め立てる山東が、オフサイドで何度もチャンスをフイにしながらも、たびたびビッグチャンスを演出。長井工業はGKが高い位置を取るため、DFがラインの裏へのケアをおろそかにしがち(裏へのボールはGKが処理するという意識が働くため)。そこを付く攻撃だが、有効だったのは前半20分くらいまで。残り20分は、単調に裏(の真ん中!)を狙う山東の攻撃が空回りし、長井工業の守備戦術が機能する。ただ、要警戒の敵FW(その日はFWというよりMFの位置でプレー)に一度、しっかりシュートを打たれたっきりで、守備は安定。ボランチの大久保が早い段階で敵に体をぶつけて、敵の攻撃を寸断している。結局、何度もチャンスボールをもらった松永が3得点、3-0で前半終了。

後半は、真ん中の裏を狙う単調な攻撃を修正し、サイドからたびたび突破。しかしサイドでのアイデア不足からもったいない単調クロスを放り込む攻撃は、頻発する。圧倒的にボールポゼッションしているのだから、もっとグラウンダーでパス回ししたいもの。しかもGKとの1対1で何本外したことが。ともかくも、最もビッグチャンスを外したが最もシュートを打った松永が、前後半合計5得点の大当たり(?)。6-0で終了。

3回戦の相手は米沢東。県総体の鶴岡工業-米沢東戦を見ているので、何となくのイメージはあったのですが、新チームになってからの米東は未知。他チームの顧問などから情報を入手するに、県総体のときの私のイメージと同様に、ショートパスを回しMFの技術で勝負するチームのよう。前線からのプレスで相手にDFラインでボールを回させない(普段よりも前がかりでボールを奪いに行く)、ボールが敵ボランチに入ったところをしっかりと狙う(山東のFWとMFで敵ボランチを挟み込む)という戦術のもと、試合に臨みました。

序盤、長いボールでシンプルに裏を狙う展開からペースを握る予定だったが、敵も然る者。左からのクロスに反応した松永のシュートはGKに阻まれ、右からのクロスに飛び出した田嶋のヘディングシュートは惜しくもゴールマウスを外れるなど、惜しいチャンスはありましたが、ペースを握るまでには至らず。序盤の押し合い[△]押し合い後の落ち着いたボール回しで有利に立つ予定も、山東の攻撃方向を的確に限定する米東のプレスと、大柄の選手と小柄の選手で構成された米東ボランチが山東ボランチとのマッチアップで優位に立ったことから、うまくは行かず(頼むぞボランチ)。高い位置でボールを奪って攻撃につなげるというゲームプランを、逆に米東に実行されてしまう。4分6分でゲームを作られる苦しい前半。3回戦ともなればそう簡単にことが運ばないことを実感させる。

後半は右サイドハーフで(後半から)登場した賢祐が、ドリブル、パスで流れを引き寄せる。前半は主に左サイドからの攻めが多かったが、後半は右から攻め立てた印象。後半の山東はFWがボールをしっかり収めることが多く、起点として機能し始めたので、高い位置でボールを回すことができる。相手を押し込んだ後もMFが落ち着いてボールを左右に散らし相手を揺さぶり始める。完全に山東ペースの後半。点数させ入れば・・・と誰もがじれったくなっていた矢先、賢祐のドリブル突破からボールはファーサイドへ。待ち構えていたのは昨日に引き続き松永。フリーのヘディングシュートを確実に決め、待望の得点。その後も山東は攻め立て、シュートチャンスを作るも、決定力不足から1点止まり。FWの位置から必死にボールに食らいつき、米東に自由にプレーさせず、虎の子の1点を守りきり1-0の勝利。ただ、終了間際に、与えてはいけない時間と場所でFKを与えてしまい、最後まではらはらどきどき。FKで直接蹴られたボールはベンチから見て「やられた」という軌道で飛んだのですが、ゴール左にはずれ、事なきを得ました。

これでようやくベスト8進出。次戦は県総体チャンピオンの羽黒高校。正直な話、失うものが何もない山東。その強みを生かしがんばります。応援よろしく願いいたします。10月17日(土) 準々決勝 VS 羽黒高校 11:00 キックオフ 於:真室川総合運動公園

芋煮会

保護者会の皆様のご好意で、10月25日(日)、県新人の激励のための芋煮会が開催されることになりました。一応9月21日に選手権・県新人の激励会をメトロポリタンで開いていただいたのですが、以前より顧問が「ホテルで格式高く激励会をやっていたくのも良いのですが、それよりもグラウンドで芋煮会などいかがですか」と話をしていたことに気を遣っていただいたか、今年はホテルでの激励会にプラスしてダブルで激励会をしていただくことになりました。否が応でもがんばらなきゃ行けないですね！分かってますか、選手諸君！！

当日は10:00キックオフで山大医学部サッカー部との練習試合も入っていますので、午前中からいらしても楽しめると思います。できれば24日(土)の選手権決勝との連戦になれば・・・なんて獲らぬ狸の皮算用は止めにして、多くの方と芋煮を味わいたいと思います。よろしく願いします。

10月25日(日) 芋煮会 お昼 於:河川敷グラウンド